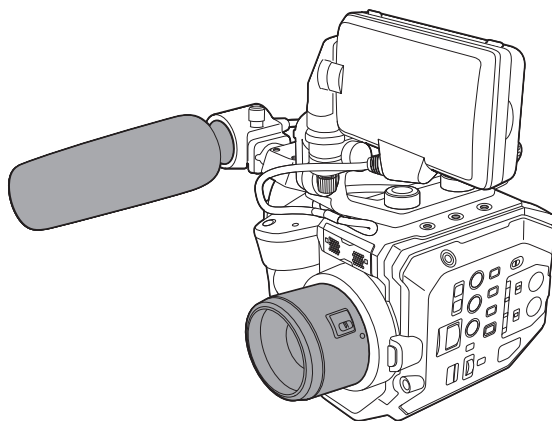


Panasonic®

取扱説明書 簡易版

メモリーカードカメラレコーダー

品番 **AU-EVA1**



SX™ V90
XC II

AVCHD™
Progressive

DOLBY AUDIO™

HDMI™

簡易版 取扱説明書

詳細は、当社Webサイト（<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>）に掲載されている取扱説明書を参照してください。

このたびは、パナソニック製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しく安全にお使いください。
- ご使用前に「安全上のご注意」（5～9ページ）を必ずお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を確かめ、取扱説明書とともに大切に保管してください。

保証書付き

著作権について

あなたが撮影（録画など）や録音したものは、個人として楽しむ以外は、著作権法上、権利者に無断で使用できません。個人として楽しむ目的であっても、撮影を制限している場合がありますのでお気をつけください。

商標などについて

- SDXC ロゴは SD-3C, LLC の商標です。
- AVCHD、AVCHD Progressive、および AVCHD Progressive のロゴはパナソニックホールディングス株式会社とソニー株式会社の商標です。
- ドルビーラポラトリーズからの実施権に基づき製造されています。Dolby、Dolby Audio、ドルビー及びダブル D 記号はドルビーラポラトリーズの商標です。
- HDMI、High-Definition Multimedia Interface、および HDMI ロゴは、米国およびその他の国における HDMI Licensing Administrator, Inc. の商標または、登録商標です。
- Microsoft® および Windows® は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- Microsoft Corporation のガイドラインに従って画面写真を使用しています。
- Intel®、Pentium®、Celeron® および Intel® Core™ は、米国およびその他の国における Intel Corporation の商標です。
- Mac および Mac OS は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- iPad は、米国および他の国々で登録された Apple Inc. の商標です。
- App Store は Apple Inc. のサービスマークです。
- Android および Google Play は Google LLC の商標または登録商標です。
- Wi-Fi® は Wi-Fi Alliance® の登録商標です。
- WPA™、WPA2™ は Wi-Fi Alliance® の商標です。
- その他、この説明書に記載されている各種名称、会社名、商品名などは各社の商標または登録商標です。

ライセンスについて

- 本製品は、AVC Patent Portfolio License に基づきライセンスされており、お客様が個人的かつ非営利目的において以下に記載する行為にかかわる個人使用を除いてはライセンスされておりません。
 - AVC 規格に準拠する動画（以下、AVC ビデオ）を記録する場合
 - 個人的かつ非営利的活動に従事する消費者によって記録された AVC ビデオを再生する場合
 - ライセンスを受けた提供者から入手された AVC ビデオを再生する場合詳細については米国法人 MPEG LA, LLC (<http://www.mpegla.com/>) をご参照ください。
- 本製品でメモリーカードに記録して、エンドユーザーに営利目的でそのカードを配布する場合には、別途 MPEG-LA とのライセンス契約が必要です。ここで言うエンドユーザーとは、個人使用目的でコンテンツを扱う人や団体を指しています。

本書の見かた

■ 本書内のイラストについて

- 本書内の製品姿図、メニュー画面などのイラストは、実際とは異なることがあります。

■ 表記について

- [] の語句は液晶モニターに表示される内容を示しています。
- 〈 〉 の語句はボタン名など本機の意匠文字を示しています。

■ 参照ページについて

- 本書では、参照ページを（00 ページ）のように示しています。

■ 用語について

- SD メモリーカード、SDHC メモリーカード、SDXC メモリーカードは、特に区別しない限り「SD カード」と記載しています。
- 1 回の記録動作により作成された映像を「クリップ」と呼び、そのように記載しています。

もくじ

安全上のご注意	5
ご使用の前に	10
付属品	14
使用する地域の設定について	15
[AREA SETTINGS]	15
[TIME ZONE]	16
[CLOCK SETTING]	16
本機でできること	17
レンズ交換式 4K/60P カメラ	17
メモリーカードに記録	17
外部機器との連携	18
各部の名称 (カメラ本体)	19
左面部	19
右面部	20
前面部	23
後面部	23
上面部	26
下面部	27
各部の名称 (液晶モニターユニット)	28
各部の名称 (グリップ)	29
電源の供給	30
バッテリーの充電	30
バッテリーの取り付け / 取り外し	32
付属品 / アクセサリーの取り付け	33
グリップ	33
液晶モニターユニット	36
レンズの取り付け	38
メニューの基本操作	39
メニューの構成	39
保証とアフターサービス (よくお読みください)	40
修理を依頼される時	40
定格	41
総合	41
AC アダプター	41
バッテリーチャージャー (AG-BRD50)	41
バッテリーパック (AG-VBR59)	42
本機搭載ファームウェアのアップデート	42

安全上のご注意

必ずお守りください

人への危害、財産の損害を防止するため、必ずお守りいただくことを説明しています。

■ 誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を区分して、説明しています。



危険

「死亡や重傷を負うおそれ大きい内容」です。



警告

「死亡や重傷を負うおそれがある内容」です。



注意

「軽傷を負うことや、財産の損害が発生するおそれがある内容」です。

■ お守りいただく内容を次の図記号で説明しています。



してはいけない内容です。



実行しなければならない内容です。

危険

バッテリーは…



- 指定以外のものを使わない
- 端子部（+・-）に金属物（ネックレスやヘアピンなど）を接触させない
- 分解、加工（はんだ付けなど）、加圧、加熱、火中投入などをしない
- 電子レンジやオーブンなどで加熱しない
- 炎天下（特に真夏の車内）など、高温になるところに放置しない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）
⇒ 使用しない時は、ビニール袋などに入れ、金属物と接触させないようにしてください。
- ⇒ 不要（寿命）になったバッテリーについては（11 ページ）をご参照ください。
- ⇒ 万一、液もれが起ったら、販売店にご相談ください。液が身体や衣服に付いたときは、水でよく洗い流してください。液が目に入ったときは、失明のおそれがあります。目をこすらずに、すぐにきれいな水で洗ったあと、医師にご相談ください。



- 本機専用のバッテリーチャージャーで充電する
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）

バッテリーチャージャーは…



- 本機専用のバッテリー以外の充電には使わない
（液もれ・発熱・発火・破裂の原因になります。）



カメラレコーダーや付属品は…

異常、故障時には直ちに使用を中止する



- 異常があったときは、ACアダプターの電源プラグを抜く
 [内部に金属や水などの液体、異物が入ったとき、落下などで外装ケースが破損したとき、煙や異臭、異音などが出たとき
 (そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。)
 ⇒ ACアダプターを電源コンセントの近くに設置し、電源プラグに簡単に手が届くようにしてください。
 ⇒ バッテリーで使っている場合は、バッテリーを外してください。
 ⇒ 販売店にご相談ください。



- 乗り物を運転しながら使わない
 (事故の誘発につながります。)
 ⇒ 歩行中でも周囲の状況、路面の状態などに十分ご注意ください。
- 可燃性・爆発性・引火性のガスなどのある場所で使わない
 (火災の原因になります。)
 ⇒ 粉じんの発生する場所でも使わないでください。
- 電源を入れたまま長時間直接接触して使用しない
 (本機の温度の高い部分に、長時間直接接触していると低温やけど※の原因になります。)
 長時間ご使用の場合は、三脚などをお使いください。
 ※血流状態が悪い人(血管障害、血液循環不良、糖尿病、強い圧迫を受けている)や、皮膚感覚が弱い人などは、低温やけどになりやすい傾向があります。



- 雷が鳴り出したら、本機の金属部やACアダプターやバッテリーチャージャーなどの電源プラグに触れない
 (落雷すると、感電につながります。)



- 分解や改造をしない
 (火災や感電の原因になります。また、使用機器を損傷することがあります。)
 ⇒ 点検・整備・修理は、お買い上げの販売店にご依頼ください。



- 本機がぬれたり、水などの液体や異物が入らないようにする
 (火災や感電の原因になります。)
 ⇒ 雨天・降雪・海岸・水辺での使用は、特にご注意ください。
 ⇒ 機器の上や近くに、水などの液体が入った花びんなどの容器を置かないでください。
- ハンドルやグリップの取り付けは確実に
 (落下すると事故の原因になります。)

⚠ 警告 (つづき)

ACアダプター、バッテリーチャージャーは…



- ACコード・電源プラグを破損するようなことはしない
 [傷つける、加工する、高温部や熱器具に近づける、無理に曲げる、ねじる、引っ張る、重いものを載せる、束ねるなど]
- 傷んだ電源プラグやゆるんだ電源コンセントのまま使用しない
- たこ足配線等コンセントや配線機器の定格を超える使い方や、交流100V～240V以外での使用はしない
 (感電・火災の原因になります。)
 - ⇒ コードやプラグの修理は、お買い上げの販売店にご相談ください。



ぬれ手禁止

- ぬれた手で電源プラグやコネクタに触れない
 (感電・火災の原因になります。)



- 電源プラグは、根元まで確実に差し込む
 (差し込みが不完全ですと、感電や発熱による火災の原因になります。)
 - ⇒ 傷んだプラグ・ゆるんだコンセントは、使わないでください。
- 電源プラグのほこり等は定期的にとる
 (プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり、火災の原因になります。)
 - ⇒ 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。


小さな付属品は…






- メモリーカード (別売品)、マイクホルダー用ねじは乳幼児の手に届くところに置かない
 (誤って飲み込むと、身体に悪影響を及ぼします。)
 - ⇒ 万一、飲み込んだと思われるときは、すぐに医師にご相談ください。

⚠ 注意

カメラレコーダーは…

	<ul style="list-style-type: none"> ■ レンズやファインダーを太陽や強い光源に向けたままにしない (レンズにより集光されると、内部部品が破損し、火災の原因となります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 三脚を取り付けた状態で、本機のハンドルを使って持ち上げない (三脚を取り付けると、三脚の重量も本機のハンドルに加わるため、ハンドルが破損し、けがの原因になります。) ⇒ 三脚を取り付けているときは、必ず、三脚を持って運搬してください。
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 高倍率のズームレンズを装着した状態で、ハンドルを持って振り回したり、ゆさぶったり、振り下ろしたりしない (高倍率のズームレンズの重量増加により、ハンドルを持って衝撃を加えると、ハンドルが破損し、けがの原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ ヘッドホン使用時は音量を上げすぎない (ヘッドホンから大きな音量で聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。)

カメラレコーダーや付属品は…

	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機の放熱を妨げない [押し入れや本箱など、狭いところに入れない、テーブルクロスを掛けたり、じゅうたんや布団の上に置かない] (内部に熱がこもり、火災の原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 直射日光の当たる場所や異常に温度が高くなる場所に置かない (特に真夏の車内、車のトランクの中は、想像以上に高温(約 60℃以上)になります。絶対に放置しないでください。外装ケースや内部部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 油煙や湯気、湿気やほこりの多い場所に置かない (火災や感電の原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 本機の上に重いものを置いたり、乗ったりしない (落下したり倒れたりして壊れ、けがの原因になります。) (重量で外装ケースが変形し、内部部品が破損すると、火災・故障の原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ コードやショルダーベルトを下にたらしたり、接続したコードを通路で引き回したりしない (足などを引っ掛けると、コードが傷つき、火災や感電の原因になります。また、けがの原因になります。)
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 病院内や機内では、病院や航空会社の指示に従う (本機からの電磁波などにより、計器類に影響を及ぼすことがあります。)
 電源プラグを抜く	<ul style="list-style-type: none"> ■ 長期間使用しないときや、お手入れのときは、バッテリーを外し、ACアダプターやバッテリーチャージャーの電源プラグをコンセントから抜く (火災や感電の原因になります。)

■ 本機で使用できるバッテリーについて（2022年4月現在）

本機で使用できるパナソニック製バッテリーはAG-VBR59（付属品）およびAG-VBR89、AG-VBR118、VW-VBD58です。

パナソニック純正バッテリー（充電式電池）ご使用のおすすめ

パナソニック純正品に非常によく似た外観をした模造品のバッテリーが一部国内外で流通していることが判明しております。このようなバッテリーの模造品の中には、一定の品質基準を満たした保護装置を備えていないものも存在しており、そのようなバッテリーを使用した場合には、発火・破裂等を伴う事故や故障につながる可能性があります。安全に商品をご使用いただくために、バッテリーを使用するパナソニック製の機器には、当社が品質管理を実施して発売しておりますパナソニック純正バッテリーのご使用をおすすめいたします。

なお、当社では模造品のバッテリーが原因で発生した事故・故障につきましては、一切の責任を負いかねますのでご了承ください。

■ 本製品（付属品を含む）に表示の記号は以下を示しています。

- ～ AC（交流）
- === DC（直流）
- 回 クラスII 機器（二重絶縁構造）

この装置は、クラスB 情報技術装置です。

この装置は家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

VCCI-B

ご使用前に

■ **ご使用前には、必ず内蔵電池が消耗していないか確認し、日付 / 時刻を設定してください。**

内蔵電池が消耗していると、本機の内蔵時計がリセットされます。そのため、クリップのメタデータが正しく記録されず、サムネール画面で正しく表示されないことがあります。

ご使用前には、内蔵電池が消耗していないか確認してください。

また、日付 / 時刻を正しく設定してください。

■ **雨天、降雪中、海岸などで使うときは、カメラに水が入らないようお気をつけください。**

カメラやカードの故障の原因になります。(修理できなくなることがあります)

■ **磁気を発生する機器（テレビ、テレビゲームなど）からカメラを遠ざけてください。**

● テレビの上やその周辺でカメラを使用しないでください。テレビから放出される電磁波で、カメラの画像や音声にひずみが生じることがあります。

● スピーカーや大型モーターから発生する強力な磁場は、録画内容を破損したり、画像をゆがめたりすることがあります。

● マイクロコンピューターの上やその周辺でカメラを使用しないでください。マイクロコンピューターから放出される電磁波で、カメラの画像や音声にひずみが生じることがあります。

● 磁気を発生する機器により、カメラが悪影響を受け、正確に動作しなくなることがあります。この場合、カメラの電源を切り、バッテリーを外すか、AC アダプターをコンセントから抜きます。次に、再度、バッテリーを取り付けるか、AC アダプターを接続します。その後、カメラの電源を入れます。

■ **カメラをラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用しないでください。**

ラジオ送信機や高電圧機器の近くで使用すると、記録した画像や音声に悪影響が出るおそれがあります。

■ **海岸などで使用する場合、砂やほこりがカメラに入らないようお気をつけください。**

砂やほこりでカメラやメモリーカードが破損することがあります。(メモリーカードを出し入れするときにはお気をつけください)

■ **AC アダプター、バッテリーチャージャーとバッテリーについて**

● バッテリーの温度が非常に高い、または非常に低い場合、充電に時間がかかったり、充電できなかつたりすることがあります。

● 充電ランプがオレンジ色で点滅し続ける場合は、バッテリーやバッテリーチャージャーの端子部にごみや異物、汚れが付着していないかを確認し、正しく接続し直してください。端子部に付着したごみや異物、汚れを取り除く場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いたあとに行ってください。

● バッテリーの温度が極端に高かったり低かったりするときは、充電ランプがオレンジ色に点滅します。その後、バッテリーが充電可能な温度になると自動的に充電が始まります。

● バッテリーが適温でも充電ランプがオレンジ色で点滅し続けるときは、バッテリーまたはバッテリーチャージャーが故障している可能性があります。お買い上げの販売店にご相談ください。

● ラジオ（特に AM 受信中）の近くで使うと、ラジオに雑音が入ることがあります。使用時は、1 m 以上離してください。

● 使用中、AC アダプターやバッテリーチャージャーの内部で発振音がすることがありますが、異常ではありません。

● 使用後は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。(接続したままにしていると、AC アダプター単体で約 0.1 W の電力を消費しています)

● AC アダプター、バッテリーチャージャー、バッテリーの端子部を汚さないでください。機器をコンセントの近くに設置し、遮断装置（電源プラグ）へ容易に手が届くようにしてください。

■ **SD カードについて**

● 長時間で使用になると本機表面や SD カードが多少熱くなりますが、故障ではありません。

- SD カードのラベルに記載されているメモリー容量は、次の容量の合計です。
 - 著作権を保護・管理するための容量
 - 本機やパーソナルコンピューターなどで通常のメモリーとして利用可能な容量
- SD カードに強い衝撃を与えたり、曲げたり、落としたりしないでください。
- 次のような場合、SD カードのデータが壊れたり、消失したりすることがあります。
 - 電気ノイズや静電気
 - 本機や SD カードの故障
- SD カードにアクセス中（カード 1 アクセスランプ / カード 2 アクセスランプがオレンジ色に点滅）、次の動作はしないでください。
 - SD カードを取り出す
 - 本体の電源を切らずにバッテリーや AC アダプターを外す
 - 振動や衝撃を与える

■ ご不要になった充電式電池はリサイクルへ

ご不要になった充電式電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないで、リサイクルにご協力ください。最寄りのリサイクル協力店へお持ちください。詳しくは、一般社団法人 JBRC の Web サイトを参照してください。
<http://www.jbrc.com>

■ 使用済み充電式電池の取り扱いについて

- 端子部をセロハンテープなどで絶縁してください。
- 使用済み充電式電池を分解しないでください。



■ カメラを持ち運ぶとき、落とさないようにお気をつけください。

- 強い衝撃でカメラ本体が破損し、正しく動作しなくなることがあります。
- カメラを持ち運ぶときは、ハンドルかグリップを持ち、ていねいに取り扱ってください。

■ カメラに殺虫剤や揮発性のものをかけないでください。

- 殺虫剤や揮発性のものがかかると、カメラ本体が変形したり、塗装がはげたりするおそれがあります。
- カメラは、ゴム製品やビニール製品に長期間接触させたままにしないでください。

■ 使い終わったら、バッテリーを外すか、または AC コードをコンセントから抜いてください。

■ バッテリーの特性について

このバッテリーは、充電式リチウムイオン電池です。内部の化学反応で電気エネルギーを発生しています。この化学反応は周囲の温度や湿度に影響されます。バッテリーの有効使用時間は温度が高くなる、または、低くなるほど短くなります。極端に温度が低い環境で使用した場合は、約 5 分しか使用できません。バッテリーが極端に高温になると、保護機能が働き、しばらく使用できなくなります。

■ 使い終わったら、必ずバッテリーを外してください。

カメラからバッテリーを確実に外してください。

(バッテリーを取り付けたままにしておくと、カメラの電源を切っても、微量電流が消費されます) 長期間バッテリーを取り付けたままにしておくと、過放電になり、充電しても使用できなくなるおそれがあります。

電源が入った状態のまま、バッテリーを取り外さないでください。

電源を切り、動作ランプが完全に消えてから、バッテリーを取り外してください。

■ バッテリーの端子部を保護してください。

バッテリーの端子部に、ほこりや異物が付かないようにしてください。

バッテリーを誤って落下させてしまった場合、バッテリー本体と端子部が変形していないか確認してください。

変形したバッテリーをカメラに入れたり、バッテリーチャージャーに取り付けたりしないでください。カメラやバッテリーチャージャーを傷めることがあります。

■ メモリーカードを破棄 / 譲渡するときのお願い

本機やパーソナルコンピューター機能による「フォーマット」や「削除」では、ファイル管理情報が変更されるだけで、メモリーカード内のデータは完全に消去されません。

廃棄 / 譲渡するときは、次の方法でデータを完全に消去することをお勧めします。

- メモリーカード本体を物理的に破壊する
- 市販のパーソナルコンピューター用データ消去ソフトウェアなどを使用してメモリーカード内のデータを完全に消去する

メモリーカード内のデータは、お客様の責任において管理してください。

■ 液晶モニターについて

- 液晶モニターに、同じ映像や文字を長時間表示したままにしないでください。画面に映像の焼き付きが発生することがあります。数時間電源を切った状態にしておくと、元に戻ります。
- 温度差が激しいところでは、液晶モニターの液晶部に露がつくことがあります。そのような場合は、柔らかい乾いた布で拭いてください。
- カメラが冷え切っている場合、電源を入れた直後は、液晶モニターが通常より少し暗くなります。内部の温度が上がると通常の明るさに戻ります。
- 液晶モニターのドットについては、有効画素の99.99%以上の高精度管理をしていますが、0.01%以下の画素欠けや常時点灯するものがあります。これは故障ではなく、記録された映像に何ら影響を与えるものではありません。
- 液晶保護シートを貼ると、見えにくくなったり、タッチしても認識しにくくなったりすることがあります。

■ レンズを太陽に向けないでください。

内部の部品が破損するおそれがあります。

■ レーザー光線についての留意点

レーザー光線がMOSセンサーに照射されると、MOSセンサーを破壊するおそれがあります。

レーザー照射機器が使用されている環境で撮影する場合は、レンズにレーザー光線が照射されないよう、十分お気をつけください。

■ 次の点にご留意ください。

- 重要な記録の場合は、必ず事前に試し撮りし、正常に録画・録音されていることを確認してください。
- 本機、およびメモリーカードの使用中に、万一これらの不具合により録画されなかった場合、録画内容の保証についてはご容赦ください。
- 記録の前にカレンダー（内蔵時計の日付 / 時刻）とタイムゾーンを設定、または設定の確認をしてください。記録したコンテンツの管理に影響します。

■ 免責について

当社はいかなる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。

- 1 本機に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
- 2 お客様の誤使用や不注意による障害または本機の破損など
- 3 お客様による本機の分解、修理または改造が行われた場合

- 4 本機の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が記録、および、表示できないことによる不便・損害・被害
- 5 第三者の機器などと組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
- 6 お客様による撮影映像（記録を含む）が何らかの理由（ネットワークのユーザー認証 OFF での使用を含む）により公となり、または目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体などによるプライバシー侵害などを理由とするいかなる賠償請求、クレームなど
- 7 登録した情報内容が何らかの原因（ユーザー名、パスワードなどの認証情報を忘れたことにより、本商品を初期化する場合を含む）により、消失してしまうこと

■ ネットワークに関するお願い

本機はネットワークへ接続して使用するため、以下のような被害を受けることが考えられます。

- 1 本機を経由した情報の漏えいや流出
- 2 悪意を持った第三者による本機の不正操作
- 3 悪意を持った第三者による本機の妨害や停止

このような被害を防ぐため、お客様の責任の下、下記のような対策も含め、ネットワークセキュリティ対策を十分に行ってください。これらの被害について、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

- ファイアウォールなどを使用し、安全性の確保されたネットワーク上で本機を使用する。
- パersonalコンピューターが接続されているシステムで本機を使用する場合、コンピューターウイルスや不正プログラムの感染に対するチェックや駆除が定期的に行われていることを確認する。
- 不正な攻撃から守るため、認証を利用し、認証情報（ユーザー名、パスワードなど）は 8 文字以上かつ文字種類 3 種以上を使用するなどして、第三者に推測されないように、初期値から変更する。
- 認証情報（ユーザー名、パスワードなど）を第三者の目に触れないよう、適切に保管する。
- 認証情報（ユーザー名、パスワードなど）は、定期的に変更する。
- 本機内の設定情報をネットワーク上に漏えいさせないため、ユーザー認証でアクセスを制限するなどの対策を実施する。
- 本機、ケーブルなどが容易に破壊されるような場所には設置しない。

■ セキュリティについて

本機の盗難、遺失や放置には十分お気をつけください。それらによる情報の漏えい、改ざん、消失については、当社は一切の責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ 本製品に関するソフトウェア情報

- 1 本製品には、GNU General Public License (GPL)、ならびに GNU Lesser General Public License (LGPL) に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれており、お客様は、これらのソフトウェアのソースコードの入手・改変・再配布の権利があることをお知らせいたします。
- 2 本製品には、MIT-License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 3 This product includes software developed by the OpenSSL Project for use in the OpenSSL Toolkit (<http://www.openssl.org/>).
- 4 本製品には、OpenBSD License に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。
- 5 This software is based in part on the work of the Independent JPEG Group.
- 6 本製品には、MOZILLA PUBLIC LICENSE に基づきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

これらの内容（原文【英文】で記載しております）と、ソースコードの入手については、次の Web サイトを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

なお、お客様が入手されたソースコードの内容などについてのお問い合わせは、ご遠慮ください。

付属品

GPL/LGPL その他に基づきライセンスされるオープンソースソフトウェアを除き、本機に含まれるソフトウェアの譲渡、コピー、逆アセンブル、逆コンパイル、リバースエンジニアリングは禁じられています。また、本機に含まれるすべてのソフトウェアの輸出法令に違反した輸出行為は禁じられています。

付属品

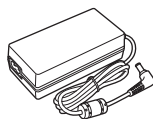
バッテリー（品番：AG-VBR59）



バッテリーチャージャー（品番：AG-BRD50）



AC アダプター

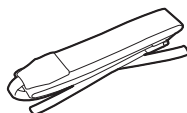


AC コード

- AC アダプター用



ショルダーベルト



マイクホルダー



マイクホルダー用ねじ

- 長さ 12 mm (2本)



マイクホルダーアダプター



グリップ

- カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。

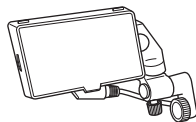


グリップベルト

- グリップにあらかじめ取り付けられています。



液晶モニター



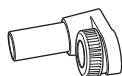
液晶モニターフード

- 液晶モニターにあらかじめ取り付けられています。



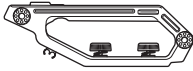
液晶モニター取り付けアタッチメント

- 液晶モニターにあらかじめ取り付けられています。



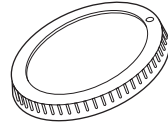
ハンドル

- カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。



マウントキャップ

- カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。



NOTE

- AC コードキャップ（付属している場合のみ）および包装材料は商品を取り出したあと、適切に処理してください。

使用する地域の設定について

本機は、使用する地域が未設定の状態でご出荷されています。

初めて電源を入れると、液晶モニターに [AREA SETTINGS] が表示されます。

案内に従って、[AREA SETTINGS]、[TIME ZONE]、[CLOCK SETTING] の順に設定してください。

- 操作方法は、マルチダイヤルで操作する方法と、液晶モニターをタッチして操作する方法があります。

[AREA SETTINGS]

ご使用の地域を設定します。



- 1 カメラ本体に、充電済みのバッテリーまたは AC アダプターを接続し、電源スイッチを $\langle | \rangle$ (入) にする。

[AREA SETTINGS] 画面が表示されます。

- 2 使用する地域を選択する。

[AREA 1]：日本、台湾、韓国

[AREA 2]：アメリカ合衆国、カナダ、中南米地域

[AREA 3]：アジア地域（日本、台湾、韓国以外）、オセアニア地域、インド

- 3 確認メッセージが表示されたら [YES] を選択する。

手順 2 で選択した地域に応じて初期化されます。本機は、自動的に再起動します。

NOTE

- 一度設定すると、次回以降の起動時には [AREA SETTINGS] 画面は表示されません。
- 使用する地域を変更するときは、[OPTION] メニュー → [AREA SETTINGS] で設定してください。

使用する地域の設定について

■ 各使用地域の設定内容

選択した地域によって、次の設定が異なります。

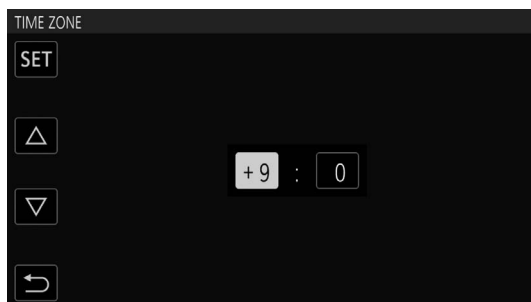
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [CLOCK] → [DATE FORMAT]
- [AUDIO SETTINGS] メニュー → [AUDIO CH SETTINGS] → [HEAD ROOM]
- [SYSTEM SETTINGS] メニュー → [LANGUAGE]

項目	[AREA 1]	[AREA 2]	[AREA 3]
[DATE FORMAT]	[Y-M-D]	[M-D-Y]	[D-M-Y]
[HEAD ROOM]	[20dB]	[20dB]	[18dB]
[LANGUAGE] *	[English]	[English] [Español] [Français]	[English] [Español] [Français]

* [AREA 1] を選択したとき、[SYSTEM SETTINGS] メニューの項目に [LANGUAGE] は表示されません。

[TIME ZONE]

[AREA SETTINGS] の設定が完了すると、[TIME ZONE] 画面が表示されます。
グリニッジ標準時からの時差を設定します。

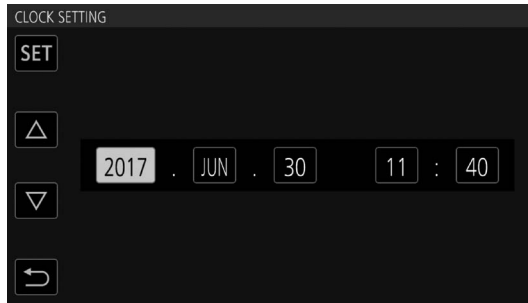


1 時差を設定する。

2 [SET] を選択する。

[CLOCK SETTING]

[TIME ZONE] の設定が完了すると、[CLOCK SETTING] 画面が表示されます。
年、月、日、時刻を設定します。



1 年、月、日、時刻を設定する。

2 [SET] を選択する。

設定が完了すると、液晶モニターに VIEW 画面が表示されます。

本機でできること

レンズ交換式 4K/60P カメラ

本機は、次の特長を備えたレンズ交換式 4K/60P カメラです。

- 新開発スーパー 35 mm 5.7K センサーと新 LSI による 4:2:2 (10 ビット) 4K/2K の高画質収録が可能 *1
 - 2K、FHD 画質で 120fps/240fps 撮影に対応 *2
 - 4K、UHD 画質で 4:2:0 (10 ビット) 60fps 撮影に対応
- クリエイティビティーを喚起する新機能を搭載
 - RAW 出力:〈SDI OUT〉端子から RAW、5.7K/30P、4K/60P (クロープサイズ)、2K/240P (クロープサイズ) 出力
 - HDR 制作 (V-Log/HLG) に対応
 - IR 撮影が手軽にでき、幻想的な映像表現が可能
- 幅広い用途に対応するデザインや撮影をサポートするインターフェースを搭載
 - ドローンやジンバルへの搭載を考慮したコンパクトデザイン、撮影スタイルに合わせて各ユニット (ハンドル、グリップ、液晶) 着脱可能
 - 業界初 (2017 年 10 月現在) のカメラ内手ぶれ補正 (E.I.S.) 搭載
 - 〈SDI OUT〉端子 / 〈HDMI〉端子から 4:2:2 (10 ビット) で同時出力可能
 - 高速バスインターフェース UHS-II 対応のダブルカードスロット装備
さらなる高画質で記録できる 400 Mbps の ALL-Intra 記録をサポート
 - レンズマウントに EF レンズマウントを採用
数多くのラインナップがある EF レンズを使用可能

*1 4K/30P、2K/120P まで

*2 120P を超えるフレームレート時は、内部記録 8 ビット 4:2:0、Four Thirds イメージサークルクロープサイズ

メモリーカードに記録

SD カード

次のような記録ができます。

- 4K、UHD、2K、FHD 記録

本機でできること

4:2:0 (10ビット) MOV 記録 (HEVC) / (4:2:0 (8ビット) MOV 記録 / 4:2:2 (10ビット) MOV 記録)

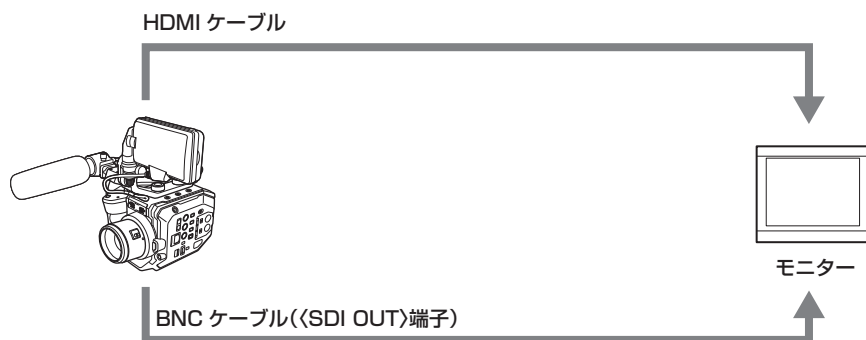
- AVCHD 記録
- バリアブルフレームレート記録
(2K、FHD 画質で 120fps/240fps 撮影に対応)
- サイマル記録
- リレー記録
- インターバル記録
- プリレック

外部機器との連携

モニターとの接続

モニターと接続して、映像を出力します。

- HDMI ケーブル (別売品) は、4K/60P に対応した二重シールドケーブルをご使用ください。また、当社製の 4K/60P に対応した HDMI ケーブルのご使用をお勧めします。
- 〈SDI OUT〉端子に接続する BNC ケーブル (別売品) は、5C-FB 相当の二重シールドのものをご使用ください。



iPad や Android 端末によるリモート操作

本機の〈USB2.0 HOST〉端子に、本機に対応したワイヤレスモジュールを装着すると、ワイヤレス LAN に接続できます。

本機と EVA ROP アプリをインストールした iPad や Android 端末を接続することで、次の操作ができます。

- カメラステータスの確認
- カメラリモートコントロール (記録制御とシャッター、EXPOSURE INDEX、アイリス、ホワイトバランスなどカメラの設定、タイムコードの確認)
- メニュー操作

本機に対応したワイヤレスモジュールおよび EVA ROP アプリの操作について、詳しくは次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。

<https://panasonic.biz/cns/sav/>

NOTE

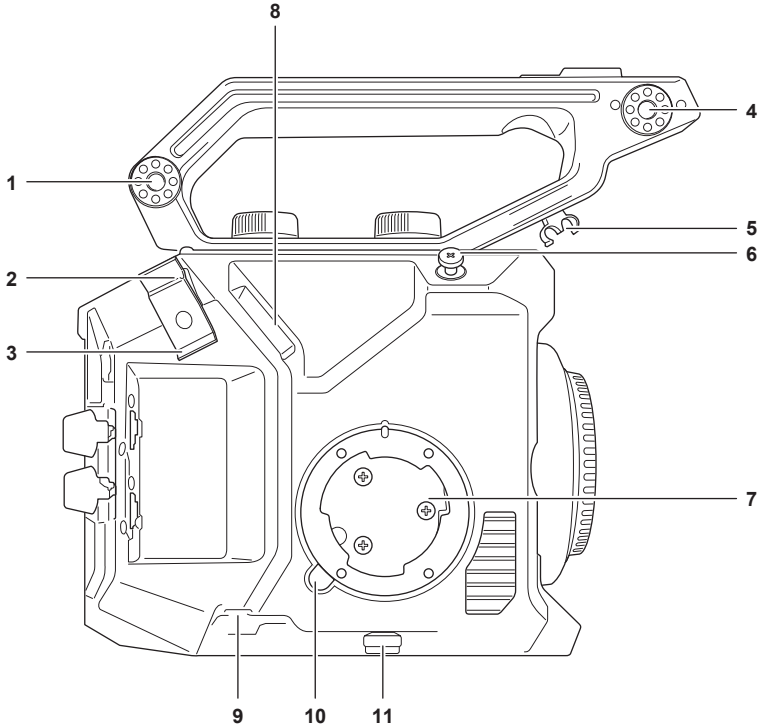
- [DIRECT] で [5GHz] に設定しているときは、屋外での使用が禁止されています。([DIRECT] は iPad や Android 端末から本機に直接アクセスするモードです。)

各部の名称 (カメラ本体)

左面部

次の端子は、カバー内部にあります。

- 〈LCD〉端子

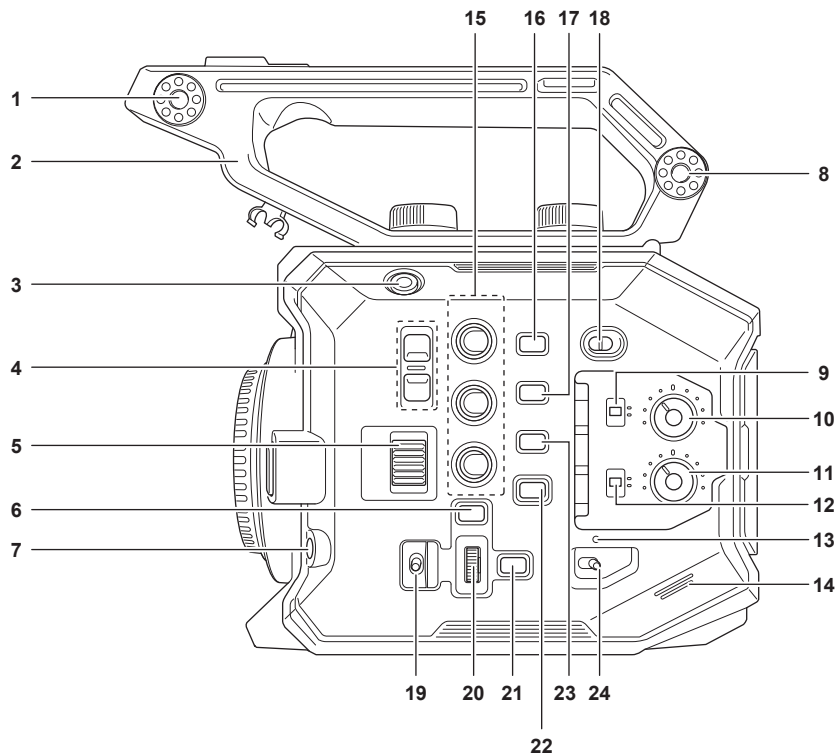


- 1 アクセサリー取り付け部**
付属の液晶モニター取り付けアタッチメントも取り付けできます。
- 2 HDMI ケーブルクランプ**
HDMI ケーブルを固定します。
- 3 マイクケーブルクランプ**
外部マイクのケーブルを固定します。
- 4 マイクホルダー取り付け部**
付属のマイクホルダーアダプター、およびマイクホルダーを取り付けます。
- 5 液晶モニターケーブルクランプ**
液晶モニターユニットのケーブルを固定します。
- 6 メジャーフック**
イメージセンサーの撮像面の位置を示します。
- 7 グリップ取り付け部**
付属のグリップを取り付けます。

各部の名称 (カメラ本体)

- 8 <LCD> 端子
液晶モニターユニットのケーブルを接続します。
- 9 <REMOTE> 端子
グリップのケーブルを接続します。
- 10 <GRIP RELEASE> ボタン
グリップをカメラ本体から取り外すときに使用します。
- 11 グリップケーブルクランプ
グリップのケーブルを固定します。

右面部



- 1 液晶モニターユニット取り付け部
付属の液晶モニター取り付けアタッチメントを取り付けます。
- 2 ハンドル
着脱可能なハンドルです。
カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。
- 3 REC ボタン
記録を開始、または停止します。

4 〈ND FILTER〉 ボタン

〈+〉 ボタン 〈-〉 ボタンを押して ND フィルターを切り替えます。
設定した値は、VIEW 画面の ND フィルター表示で確認できます。ND フィルター表示の表示内容は、次のとおりです。

[ND:1.8] : MOS センサーに入る光の量を 1/64 にします。

[ND:1.2] : MOS センサーに入る光の量を 1/16 にします。

[ND:0.6] : MOS センサーに入る光の量を 1/4 にします。

[ND:CLR] : ND フィルターを使用していません。

5 〈IRIS〉 ダイアル

EF レンズのアイリスを制御します。

上回転 : 絞り込む方向に制御します。

下回転 : 開放方向に制御します。

押す : 〈AUTO〉 / 〈MANU〉 を切り替えます。

6 〈MENU〉 ボタン

メニューを表示します。メニューを表示しているときに 〈MENU〉 ボタンを押すと、メニューを閉じます。

7 〈AWB〉 / 〈USER 6〉 ボタン

ホワイトバランスを調整します。

また、USER ボタン (USER6) としても使用します。

8 アクセサリー取り付け部

付属の液晶モニター取り付けアタッチメントも取り付けできます。

9 〈CH1〉 スイッチ

〈AUDIO INPUT 1〉 端子の音声の入力レベルを調整する方法を選択します。

〈AUTO〉 : 自動で調整します。

〈MANU〉 : 〈AUDIO LEVEL CH1〉 つまみで調整します。

10 〈AUDIO LEVEL CH1〉 つまみ

〈CH1〉 スイッチを 〈MANU〉 に設定しているとき、音声の入力レベルを調整します。

11 〈AUDIO LEVEL CH2〉 つまみ

〈CH2〉 スイッチを 〈MANU〉 に設定しているとき、音声の入力レベルを調整します。

12 〈CH2〉 スイッチ

〈AUDIO INPUT 2〉 端子の音声の入力レベルを調整する方法を選択します。

〈AUTO〉 : 自動で調整します。

〈MANU〉 : 〈AUDIO LEVEL CH2〉 つまみで調整します。

13 電源ランプ

電源の状態を示します。電源が入るとき、赤色に点灯します。

ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

14 内蔵スピーカー

再生中の音声を出力します。

ヘッドホン端子にヘッドホンを接続すると、内蔵スピーカーから音声が出力されません。

15 USER ボタン (〈USER 1〉、〈USER 2〉 / 〈VIEW〉、〈USER 3〉 / 〈INFO〉)

ユーザーが選択した機能をそれぞれのボタンに割り当てることができます。VIEW 画面を表示中にボタンを押すと、割り当てられた機能が動作します。

HOME 画面を表示中にボタンを押すと、カメラ本体にオレンジ色の文字で示されている 〈VIEW〉 / 〈INFO〉 ボタンの動作をします。〈VIEW〉 ボタンを押すと VIEW 画面、〈INFO〉 ボタンを押すと INFO 画面が表示されます。

16 〈E.I.S.〉 / 〈USER 4〉 ボタン

電子手ぶれ補正機能の有効 / 無効を切り替えます。

また、USER ボタン (USER4) としても使用します。

17 〈WFM〉 / 〈USER 5〉 ボタン

液晶モニターに表示する波形モニターの表示 / 非表示を切り替えます。
また、USER ボタン (USER5) としても使用します。

18 〈LOCK〉 スイッチ

〈〉側にスライドすると、電源スイッチ以外の操作を無効にします。
[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [SIDE LOCK] で、操作を無効にするボタンやスイッチを設定できます。

19 〈WB〉 / 〈USER〉 / 〈ISO/dB〉 スイッチ

〈WB〉 (ホワイトバランス) / 〈USER〉 (USER ボタン) / 〈ISO/dB〉 (ゲイン調整) の機能を切り替えて使用します。
選択している機能は、マルチダイヤルで操作します。

20 マルチダイヤル

メニューを表示しているときに、メニューの移動、選択や設定をします。
また、〈WB〉 / 〈USER〉 / 〈ISO/dB〉 スイッチで選択している機能进行操作します。

21 〈EXIT〉 ボタン

メニューを表示しているときに、1 つ上の階層に戻ります。設定値を確定せずに 〈EXIT〉 ボタンを押すと、設定の変更は反映されません。

22 〈HOME〉 ボタン



液晶モニターに HOME 画面を表示します。

23 〈THUMBNAIL〉 ボタン

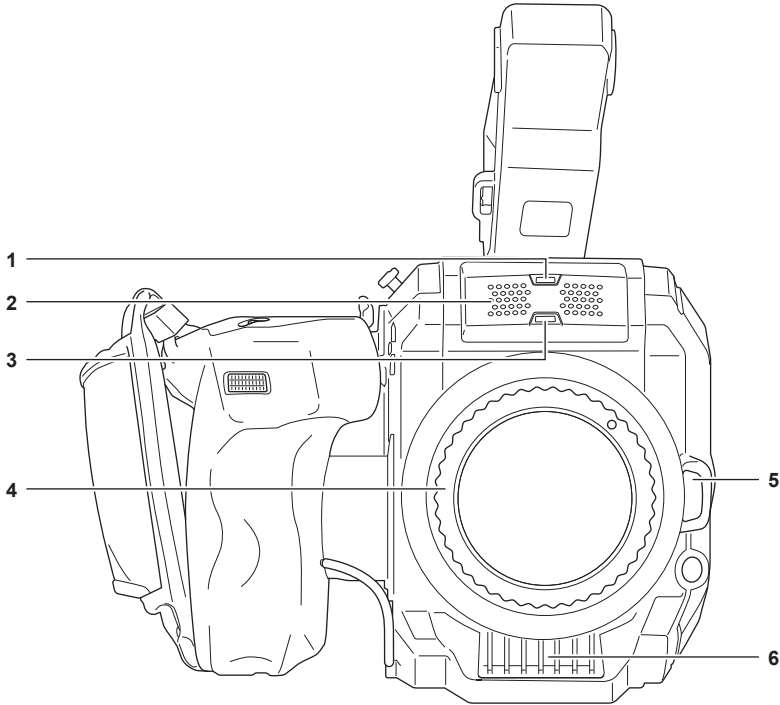
液晶モニターにサムネール画面を表示します。
再度 〈THUMBNAIL〉 ボタンを押すと、VIEW 画面が表示されます。

24 電源スイッチ

電源の入 / スタンバイを切り替えます。

電源を入れるには、電源スイッチを 〈〉 (入) にします。電源をスタンバイ状態にするには、電源スイッチを 〈〉 (スタンバイ) にします。

前面部

**1 外光センサー**

屋内、屋外で光を検知するためのセンサーです。
オートトラッキングホワイトバランス (ATW) を使用する場合は、外光センサーをふさがないでください。

2 内蔵マイク

内蔵のステレオマイク〈L〉 / 〈R〉です。

3 フロントタリーランプ

記録を開始すると点灯します。また、バッテリー残量が少なくなったときなどに点滅します。
ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

4 EF レンズマウント

EF レンズを取り付けます。

● 図は、マウントキャップが取り付けられている状態です。レンズを取り付ける場合は、マウントキャップを取り外してください。

5 レンズロック解除ボタン

レンズをカメラ本体から取り外すときに、ロックを解除します。

6 吸気口

冷却用ファンの吸気口です。本機を使用しているときは、ふさがないでください。

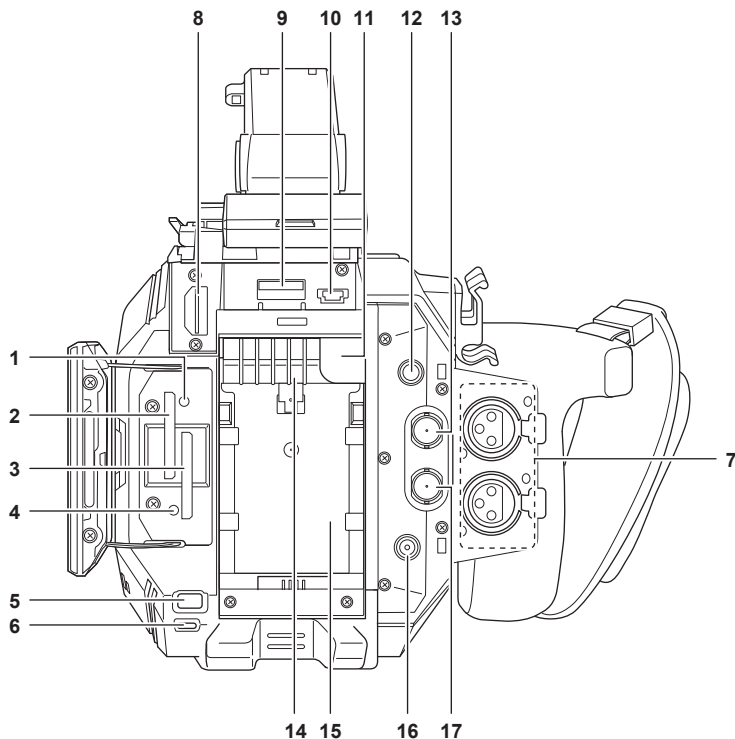
後面部

次の端子、カードスロット、カードアクセスランプは、カバー内部にあります。

- 〈HDMI〉端子

各部の名称 (カメラ本体)

- 〈USB2.0 HOST〉 端子
- 〈SERVICE〉 端子
- ヘッドホン端子
- 〈SDI OUT〉 端子
- 〈TC IN/OUT〉 端子
- 〈DC IN 12V〉 端子
- カードスロット 1 / カードスロット 2
- カード 1 アクセスランプ / カード 2 アクセスランプ



1 カード 1 アクセスランプ

カードスロット 1 に挿入した SD カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

2 カードスロット 1

SD カードのスロットです。

3 カードスロット 2

SD カードのスロットです。

4 カード 2 アクセスランプ

カードスロット 2 に挿入した SD カードの記録、再生のアクセス状況を表示します。ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

5 〈SLOT SEL〉 / 〈USER 7〉 ボタン

記録対象、または再生対象のカードスロットを選択します。また、USER ボタン (USER7) としても使用します。

6 リアタリーランプ

記録を開始すると点灯します。また、バッテリー残量が少なくなったときに点滅します。ランプを点灯させるかどうかは、メニューで設定できます。

7 <AUDIO INPUT 1> / <AUDIO INPUT 2> 端子 (XLR、3 ピン)

オーディオ機器、または外部マイクを接続します。

8 <HDMI> 端子

モニターなどを接続して、映像信号を出力する端子です。

9 <USB2.0 HOST> 端子

本機に対応したワイヤレスモジュール (別売品) を取り付けると、ワイヤレス LAN で接続ができます。

10 <SERVICE> 端子

メンテナンス用端子です。

11 バッテリー取り外しボタン

バッテリーをカメラ本体から取り外すときに使用します。

12 ヘッドホン端子

音声モニター用ヘッドホンを接続します。

13 <SDI OUT> 端子

モニターなどを接続して、SDI 信号を出力する端子です。

14 排気口

冷却用ファンの排気口です。本機を使用しているときは、ふさがないでください。

15 バッテリー取り付け部

バッテリーを取り付けます。

16 <DC IN 12V> 端子

付属の AC アダプターを接続して、外部電源を供給します。

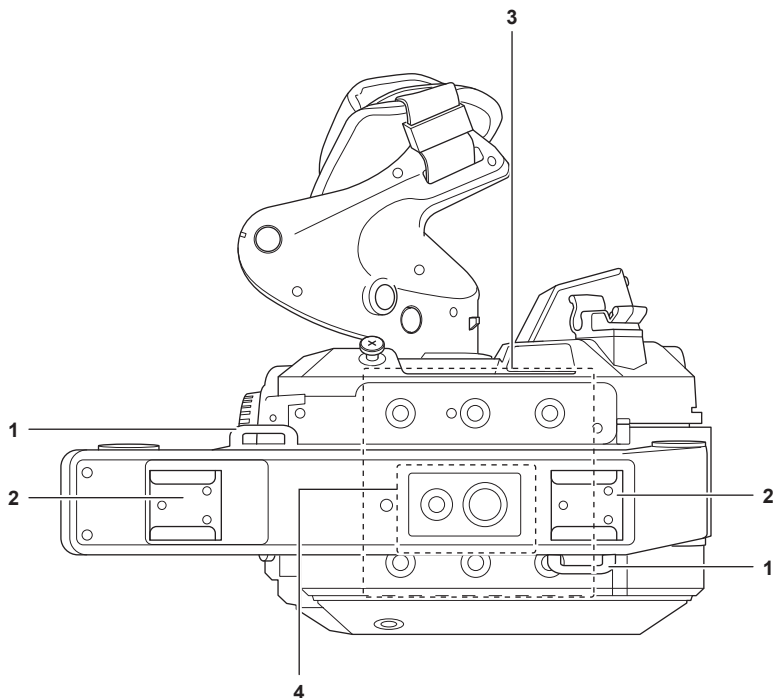
17 <TC IN/OUT> 端子

外部機器と接続して、タイムコードを入力 / 出力します。

タイムコードを外部機器とロックするときに、基準となるタイムコードを入力します。

入力および出力は、[REC SETTINGS] メニュー → [TC] → [TC IN/OUT SEL] で設定します。

上面部



1 ショルダーベルト取り付け部

付属のショルダーベルトを取り付けます。

2 アクセサリーシュー

ビデオライトなどを取り付けます。

3 アクセサリー取り付け穴

ハンドル、および液晶モニターユニットなどのアクセサリを取り付けます。

- 取り付け穴サイズ

- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

4 ハンドルアクセサリ取り付け穴

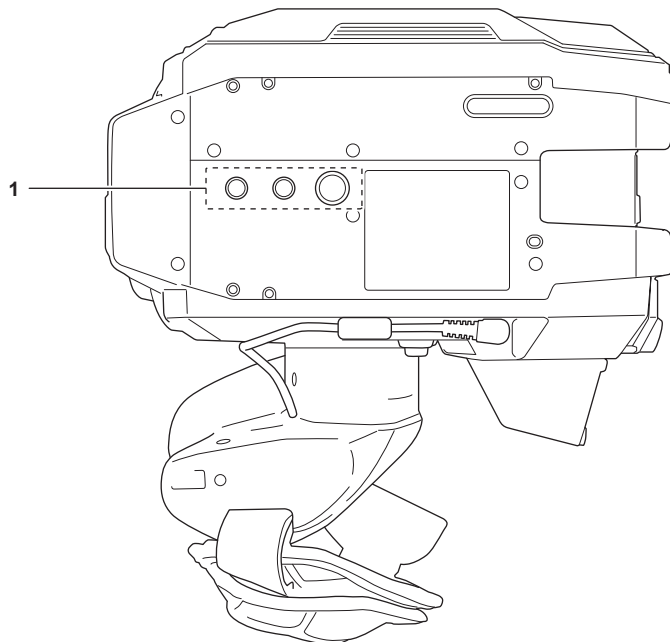
ハンドルの上部にアクセサリを取り付けます。

- 取り付け穴サイズ

- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

- 3/8-16 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

下面部

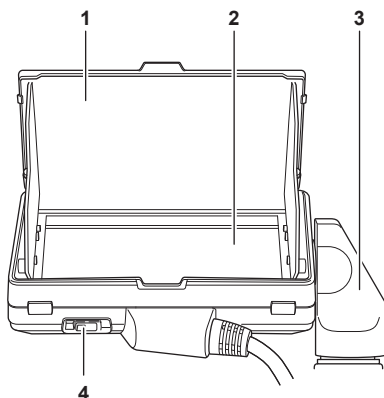
**1 三脚取り付け穴**

三脚を取り付けます。

● 取り付け穴サイズ

- 1/4-20 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)
- 3/8-16 UNC (ねじ長さ 5.5 mm 以下)

各部の名称 (液晶モニターユニット)



1 液晶モニターフード

外部からの光を遮断して、液晶モニターを見やすくします。

2 液晶モニター

本機の基本的な設定をしたり、本機の状態を確認したりする画面を表示します。

操作の起点となる HOME 画面のほか、撮影映像を表示する VIEW 画面、本機の情報を表示する INFO 画面などが表示できます。

タッチ操作に対応しています。

3 液晶モニター取り付けアタッチメント

ハンドルの液晶モニターユニット取り付け部などに取り付けます。

4 〈MIRROR〉スイッチ

VIEW 画面を上下反転、または上下左右反転します。

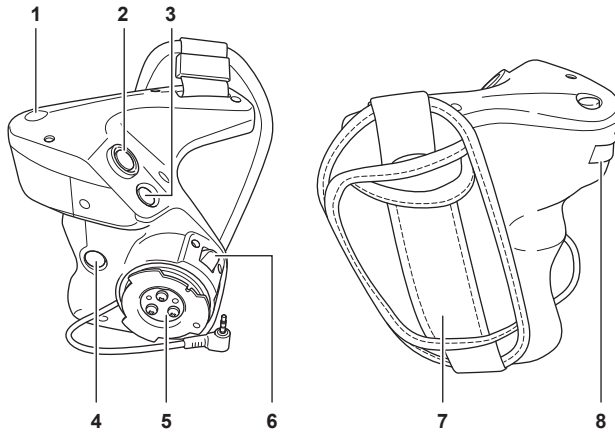
〈OFF〉：反転しません。

〈B/T〉：上下に反転します。

〈ROTATE〉：上下左右に反転します。

各部の名称 (グリップ)

グリップは、カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。



1 〈EXIT〉 / 〈USER 8〉 ボタン

メニューを表示しているときは、現在のメニューの1つ上の階層に戻ります。設定値を確定せずに〈EXIT〉ボタンを押すと、設定の変更は反映されません。
VIEW画面を表示中は、USERボタン (USER8) として使用できます。

2 REC ボタン

記録を開始、または停止します。

3 〈MENU〉 ボタン

メニューを表示します。メニューを表示しているときに〈MENU〉ボタンを押すと、メニューを閉じます。

4 〈USER 9〉 ボタン

VIEW画面を表示中に、USERボタン (USER9) として使用できます。

5 グリップマウント部

カメラ本体のグリップ取り付け部に取り付けます。

6 グリップ回転レバー

〈UNLOCK〉側に引くと、グリップを回転させて位置を調整できます。

7 グリップベルト

グリップにあらかじめ取り付けられています。

8 グリップマルチダイヤル

メニューを表示しているときに、メニューの移動、選択や設定をします。
また、EFレンズのアイリスの制御にも使用できます。

電源の供給

本機の電源には、バッテリー、または付属の AC アダプターが使用できます。

- 本機は、次のバッテリーに対応しています。(2022 年 4 月現在)
 - AG-VBR59 (付属品 / 別売品、急速充電対応)
 - AG-VBR89 (別売品、急速充電対応)
 - AG-VBR118 (別売品、急速充電対応)
 - VW-VBD58 (別売品)

バッテリーの充電

お買い上げ時、バッテリーは充電されていません。バッテリーを使用する前に、バッテリーチャージャーで満充電してください。

予備のバッテリーを 1 本用意することをお勧めします。

- バッテリーの充電は、周囲の温度が 10 °C ~ 30 °C (バッテリーの温度も同様) のところで行うことをお勧めします。
- 付属の AC コードは、本機専用です。ほかの機器には使用しないでください。また、ほかの機器の AC コードを本機に使用しないでください。
- 付属のバッテリーチャージャーは、2 個のバッテリーを同時に充電できます。また、急速充電対応バッテリーに対応しています。

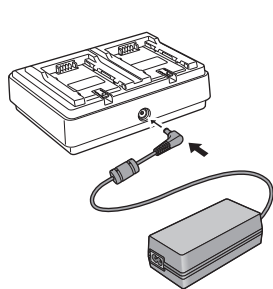


図 1

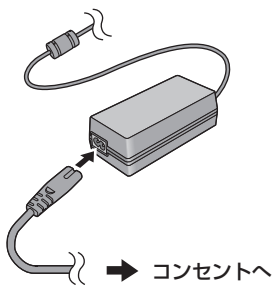


図 2

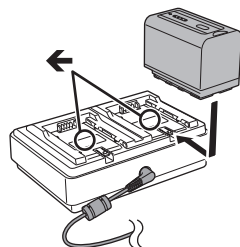


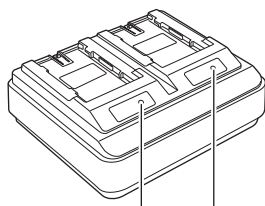
図 3

- 1 ACアダプターのDCプラグをバッテリーチャージャーの〈DC IN 12V〉端子に接続する。(図 1)
- 2 ACコードを AC アダプターに接続する。(図 2)
 - ACコードが奥に突き当たるまで差し込んでください。
- 3 電源プラグをコンセントに接続する。(図 2)
- 4 バッテリーチャージャーにバッテリーを取り付ける。(図 3)

バッテリーを取り付けた側の充電ランプが点灯し、充電が開始されます。

 - ←マークに沿ってバッテリーを水平にのせてスライドさせてください。
 - 充電が完了すると、〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ (充電ランプ) が消灯します。バッテリーをスライドさせて取り外してください。

■ 〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプの表示



〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ

付属のバッテリーチャージャーの〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプ（充電ランプ）は、充電の状態を次のように表示します。

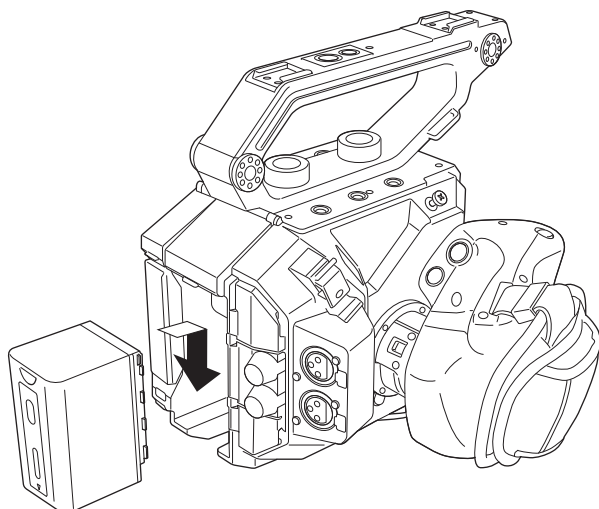
〈CHARGE1〉 / 〈CHARGE2〉 ランプの表示	充電の状態
緑色（点灯）	急速充電中
オレンジ色（点灯）	通常充電中
オレンジ色（点滅）	異常により充電を停止中
消灯	充電完了、またはバッテリーが取り付けられていない

 **NOTE**

- ・バッテリーチャージャーは、バッテリーを取り付けたあとにバッテリーの状態を判断します。このため、充電ランプが点灯するまでに時間がかかることがあります。10秒以上経過しても充電ランプが点灯しないときは、バッテリーを取り付け直してください。
- ・急速充電対応バッテリーが2個取り付けられた場合、〈CHARGE1〉側の急速充電が優先され、〈CHARGE2〉側は通常の充電になります。〈CHARGE1〉側のバッテリーの充電が進むと、自動的に〈CHARGE2〉側が急速充電に切り替わります。
また、バッテリーの充電状態により、〈CHARGE2〉側に取り付けたバッテリーのインジケーターが消灯することがあります。
- ・バッテリーチャージャーは、バッテリーの状態を判断してから最適な充電をします。充電が開始されると、急速充電対応バッテリーのインジケーターが点滅表示になります。また、〈CHARGE1〉側と〈CHARGE2〉側の両方で充電しているときに、どちらかのバッテリーを取り付け / 取り外したり、交換したりすると、両方の充電を中止します。再度、バッテリーの状態を判断してから充電を開始します。
- ・優先して充電するバッテリーは、〈CHARGE1〉側に取り付けて充電してください。

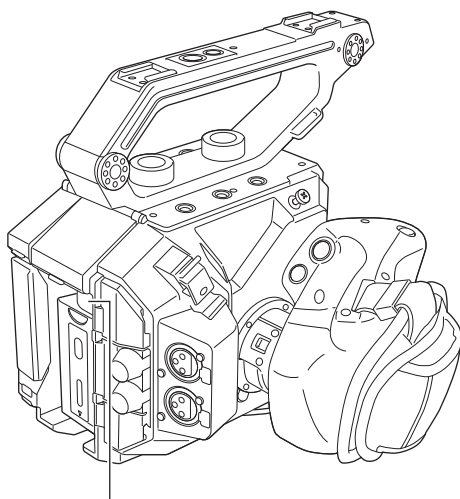
バッテリーの取り付け / 取り外し

バッテリーの取り付け



- 1 バッテリーをカメラ本体のバッテリー取り付け部に押し当て、下にスライドさせて取り付ける。
 - 「カチッ」と音がして、ロックがかかるまで押し込んでください。

バッテリーの取り外し



バッテリー取り外しボタン

- 1 電源スイッチを ⏻ (スタンバイ) にする。
 - 電源ランプが消灯していることを確認してください。

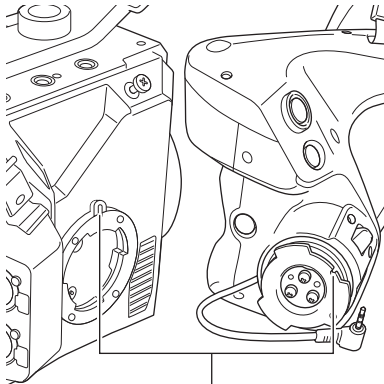
- 2 カメラ本体のバッテリー取り外しボタンを押しながら、バッテリーを上へスライドさせて取り外す。

付属品 / アクセサリーの取り付け

グリップ

グリップは、カメラ本体にあらかじめ取り付けられています。

グリップの取り付け



マウント標点

図 1

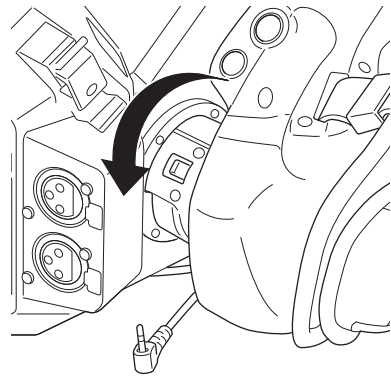


図 2

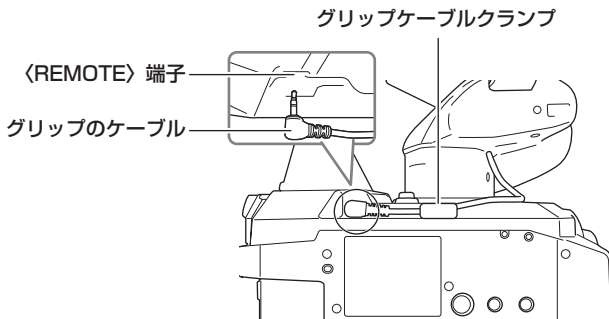


図 3

- 1 グリップをカメラ本体にはめ込む。(図 1)

- カメラ本体にはめ込むときは、カメラ本体のグリップ取り付け部と、グリップのグリップマウント部にあるマウント標点を合わせてください。

- 2 グリップを「カチッ」と音がするまで反時計方向にゆっくり回す。(図 2)

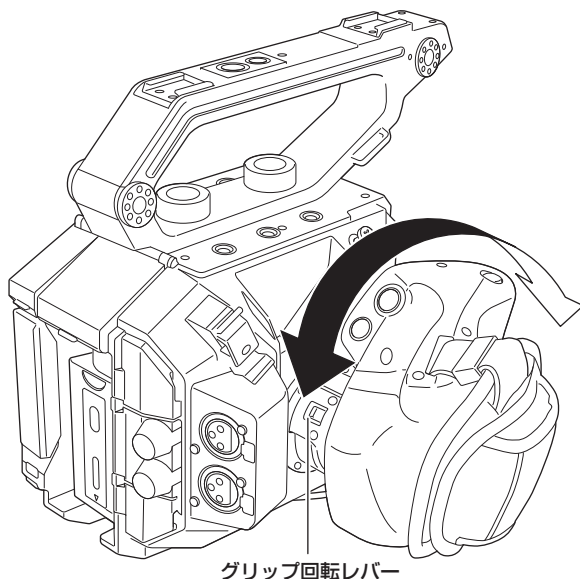
3 〈REMOTE〉 端子にグリップのケーブルを接続する。(図 3)

4 グリップのケーブルを、グリップケーブルクランプで固定する。(図 3)

NOTE

- ・正しく装着できない場合は、最初から取り付けをやり直してください。グリップやカメラ本体に無理な力を加えないでください。
- ・グリップのケーブルはグリップケーブルクランプに収めてください。収まっていない場合、グリップの角度を変更したときにケーブルが底面に飛び出したり、三脚を取り付けるときに巻き込まれたりすることがあります。
- ・複数のアクセサリーをカメラ本体に取り付け、カメラ全体の総質量が増えた状態で、グリップのみでカメラ全体を支えないようにしてください。グリップが破損する場合があります。

■ グリップの角度調整



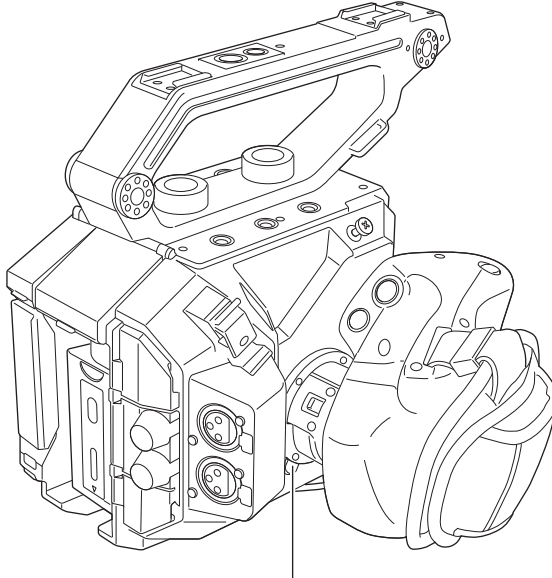
1 グリップ回転レバーを 〈UNLOCK〉 側に引く。

2 グリップの角度を調整し、固定したい位置でグリップ回転レバーを戻す。

グリップが固定されます。

- ・グリップは、8段階で位置を固定できます。

グリップの取り外し



〈GRIP RELEASE〉ボタン

- 1 グリップのケーブルを、グリップケーブルクランプから取り外す。
- 2 〈REMOTE〉端子からグリップのケーブルを取り外す。
- 3 カメラ本体の 〈GRIP RELEASE〉 ボタンを押しながら、グリップを時計方向に回す。

 **NOTE**

- ・カメラ本体を机など平らな場所に置いてから、グリップを取り外してください。

液晶モニターユニット

液晶モニターユニットの取り付け

付属の液晶モニターユニットを、液晶モニターユニット取り付け部に取り付けます。

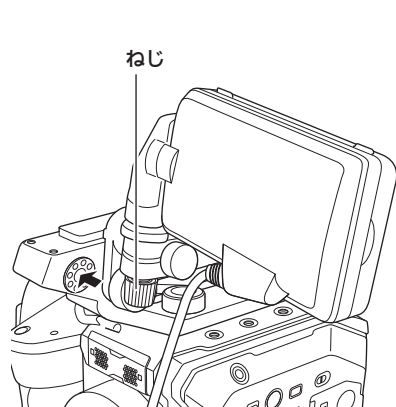


図 1

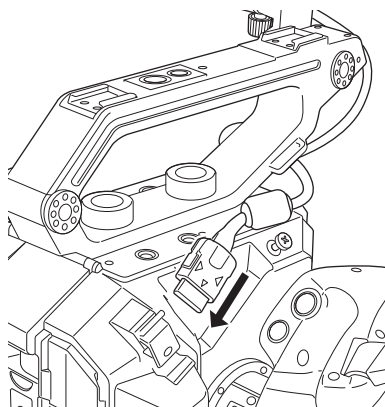


図 2

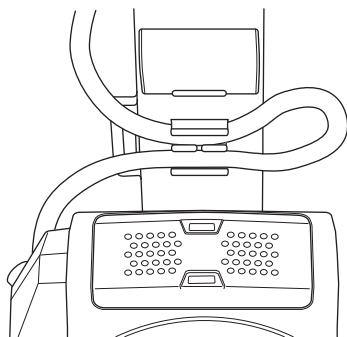


図 3

- 1 ハンドルの液晶モニターユニット取り付け部に、付属の液晶モニター取り付けアタッチメントをはめ込む。(図 1)
 - カメラ本体上面部のアクセサリー取り付け穴にも取り付けることができます。
- 2 付属のねじを時計方向に回して締める。
- 3 <LCD> 端子の端子カバーを開け、<LCD> 端子に液晶モニターユニットのケーブルを接続する。(図 2)
 - <LCD> 端子の ▲ と、液晶モニターユニットのケーブル接続端子の ▼ を合わせて接続してください。
 - 液晶モニターユニットのケーブル接続端子の ▼ が外側になるように向きを確認してから接続してください。

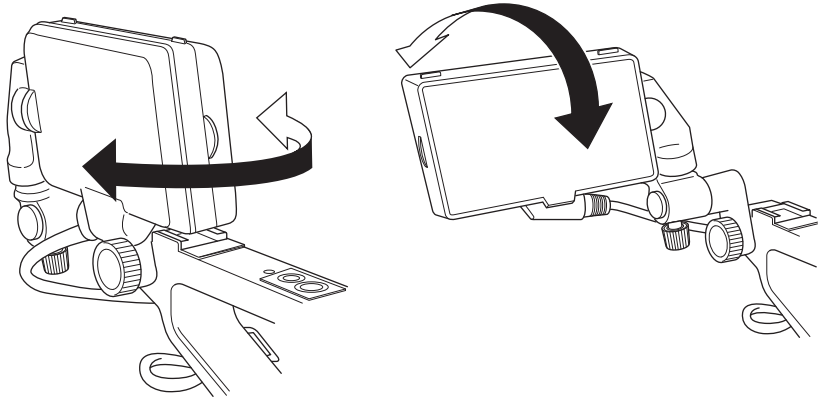
4 液晶モニターユニットのケーブルを液晶モニターケーブルクランプにはめる。(図 3)

■ 液晶モニターの角度調整

液晶モニターは上下前後に回転させて、見やすい角度に調節できます。

〈MIRROR〉スイッチで VIEW 画面を上下反転、または上下左右反転させることで、対面撮影などに活用できます。

本機を使用しない場合や持ち運ぶ場合などは、液晶モニターの保護のため、液晶モニターを閉じることをお勧めします。



レンズの取り付け

レンズの取り付け / 取り外しは、直射日光や強い照明が当たらない場所で行ってください。
カメラ本体やレンズを落とさないようにしてください。
EF レンズマウント内にごみやほこりが入らないようにしてください。

マウントキャップ

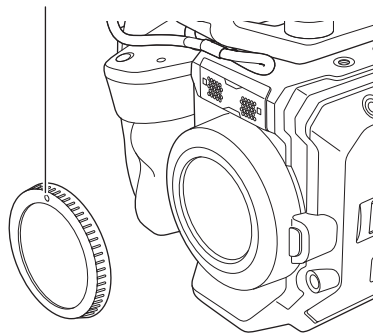


図 1

マーク

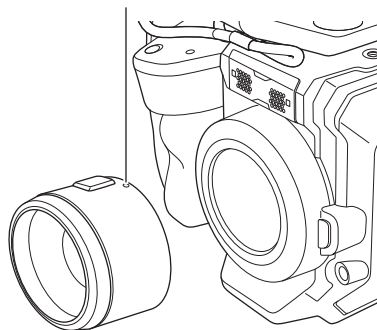


図 2

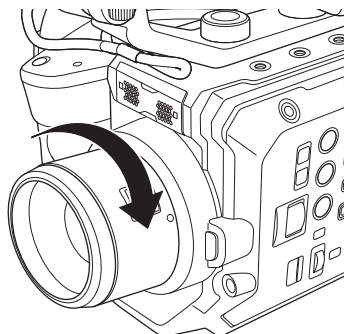


図 3

- 1** 電源スイッチを $\langle \text{⏻} \rangle$ (スタンバイ) にする。
 - 電源ランプが消灯していることを確認してください。
- 2** マウントキャップを取り外す。(図 1)
 - マウントキャップの目印が上位置になるまで反時計方向に回し、カメラ本体から取り外してください。
- 3** レンズのマーク (赤丸印) を上にして、EF レンズマウントにはめ込む。(図 2)
- 4** レンズを「カチッ」と音がするまで時計方向に回す。(図 3)

メニューの基本操作

撮影シーンや記録内容に合わせて本機の設定をメニューで変更できます。

設定されたデータは、本体メモリーに書き込まれ、保存されます。

- マルチダイヤルまたはグリップマルチダイヤルで操作する方法と、液晶モニターをタッチして操作する方法があります。

メニューの構成

メニューの種類と開き方

メニューの種類	用途	開き方
メニュー	使用目的や設定頻度などに応じて、カテゴリ別に階層化した構成になっています。	〈MENU〉ボタンを押すと表示します。VIEW画面を表示中に、液晶モニターを1秒以上タッチして離すと表示します。
[OPTION] メニュー	将来的な機能追加などを考慮した、特殊なメニューを準備しています。	〈EXIT〉ボタンを押しながら〈MENU〉ボタンを押すと表示します。

メニューの構成

[THUMBNAIL] メニュー	記録クリップの確認や削除などを行います。 このメニューは、サムネール画面が表示されているときに、設定できます。
[SYSTEM SETTINGS] メニュー	システム全般の設定をします。
[CAMERA SETTINGS] メニュー	カメラの基本機能の設定を行います。 このメニューは、サムネール画面が表示されているときは、設定できません。
[SCENE FILE SETTINGS] メニュー	シーンファイルに関する設定をします。 このメニューでは、カメラ映像の細かな画質調整を設定します。また、シーンファイルの選択や、シーンファイルデータの本体メモリーへの書き込み、および本体メモリーからの読み込みができます。 このメニューは、サムネール画面が表示されているときは、設定できません。
[REC SETTINGS] メニュー	記録機能の各種項目を設定します。
[AUDIO SETTINGS] メニュー	音声の入出力機能を設定します。
[OUTPUT SETTINGS] メニュー	映像の表示内容や出力フォーマットを設定します。
[FILE] メニュー	設定データの保存と読み込みを行います。
[NETWORK SETTINGS] メニュー	ネットワーク機能に関する設定をします。

保証とアフターサービス（よくお読みください）

故障・修理・お取扱い・メンテナンスなどのご相談は、
まず、**お買い上げの販売店**へ、お申し付けください。

お買い上げの販売店がご不明の場合は、当社（裏表紙）までご連絡ください。

* 内容により、お近くの窓口をご紹介させていただく場合がございますので、ご了承ください。

■ 保証書（本書に付属）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ずお確かめのうえ、お買い上げの販売店からお受け取りください。

内容をよくお読みいただいたうえ、大切に保管してください。

万一、保証期間内に故障が生じた場合には、保証書記載内容に基づき、無料修理させていただきます。

保証期間：お買い上げ日から本体 1 年間

■ 補修用性能部品の保有期間 **8 年**

当社は、このメモリーカードカメラレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後、8 年保有しています。

* 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

■ 保守・点検

- 保守・点検は機器の機能を常に良好な状態に維持し、お客様が安心してご使用していただくためのものです。
- 部品の劣化、ごみ、ほこりの付着などにより突発的な故障、トラブルを未然に防ぐとともに、安定した機能、性能の維持のために、定期的な保守・点検を行ってください。
- 保守・点検（有料）についての詳しい内容は、お買い上げの販売店にご相談ください。
- 修理、保守、点検時には、情報漏えいしては困る本体設定情報はあらかじめ削除し、SD カードを外して、ご依頼ください。

修理を依頼されるとき

この取扱説明書を再度ご確認くださいのうえ、お買い上げの販売店までご連絡ください。

■ 保証期間中の修理は...

保証書の記載内容に従って、修理させていただきます。詳しくは、保証書を参照してください。

■ 保証期間経過後の修理は...

修理により、機能、性能の回復が可能な場合は、ご希望により有料で修理させていただきます。

ご連絡いただきたい内容

品名	メモリーカードカメラレコーダー
品番	AU-EVA1
製造番号	
お買い上げ日	
故障の状況	

定格

定格の詳細内容については、当社 Web サイト (<https://pro-av.panasonic.net/manual/jp/index.html>) に掲載されている取扱説明書 (HTML) を参照してください。

総合

電源

DC === 7.28 V (バッテリー使用時)

DC === 12 V (AC アダプター使用時)

消費電力

19 W (液晶モニター使用時)

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度	10% ~ 80% (相対湿度、結露なし)
質量	約 1.2 kg (カメラ本体のみ、付属品を除く) 約 2.05 kg (ハンドル、グリップ、液晶モニター、液晶モニターフード、マイクホルダー、マイクホルダーアダプター、バッテリーの付属品を含む)
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	カメラ本体のみ 135 mm × 133 mm × 170 mm (突起部分を除く)

AC アダプター

定格入力

AC ~ 100 V-240 V、50 Hz/60 Hz、1.2 A

定格出力

DC === 12 V、3.0 A

は安全項目です。

動作周囲温度	0 °C ~ 40 °C
動作周囲湿度	10% ~ 90% (相対湿度、結露なし)
質量	約 225 g
外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	115 mm × 37 mm × 57 mm (DC コード部を除く)

バッテリーチャージャー (AG-BRD50)

入力電圧

DC === 12 V、3.0 A

出力電圧

DC === 8.4 V、4.0 A

は安全項目です。

充電電流	最大 4,000 mA
動作周囲湿度	10% ~ 80% (相対湿度、結露なし)
質量	約 230 g

本機搭載ファームウェアのアップデート

外形寸法 (幅 × 高さ × 奥行)	130 mm×48 mm×107 mm
--------------------	---------------------

バッテリーパック (AG-VBR59)

電圧 / 容量

DC === 7.28 V/5900 mAh 43 Wh

は安全項目です。

本機搭載ファームウェアのアップデート

[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [INFORMATION] → [VERSION] で本機のファームウェアバージョンを確認のうえ、NOTE に記載された Web サイトのファームウェアに関する最新情報にアクセスし、必要に応じてファームウェアをダウンロードしてください。

NOTE

- ・アップデートはダウンロードしたファイルを、SD カードを介して本機にロードすることにより完了します。アップデートファイルを格納した SD カードをカードスロット 1 に入れ、[SYSTEM SETTINGS] メニュー → [INFORMATION] → [UPDATE] を選択してください。アップデート方法については次の Web サイトのサポートデスクを参照してください。
<https://panasonic.biz/cns/sav/>
- ・ファームウェアのアップデートは、必ず液晶モニターユニットを取り付けた状態で行ってください。
- ・ファームウェアのアップデートを行う場合は、AC アダプターを使用、もしくは十分に充電されたバッテリーを使用してください。
- ・ファームウェアのアップデート中は電源を切らないでください。ファームウェアの書き換えに失敗して、起動しなくなることがあります。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
2. 無料修理をご依頼になる場合には、お買い上げの販売店にお申しつけください。
3. この商品は出張修理させていただきますので、修理に際し、本書をご提示ください。
4. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ロ) お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下等による故障及び損傷
 - (ハ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変および公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障および損傷
 - (ニ) 他の接続機器及び接続部材に起因して生じた故障及び損傷
 - (ホ) 一般使用環境以外（例えば、強震、高温などの場所）に使用された場合の故障及び損傷
 - (ヘ) 取扱説明書に指定する摩耗性の部品、あるいは付属品の故障及び損傷
 - (ト) 本書のご提示がない場合
 - (チ) 本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
 - (リ) 離島または離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行なう場合の出張に要する実費
5. 故障、その他により正常に記録ができなかった場合のデータ補修・記録内容の補償、及び営業上の機会損失等の損害に対する補償は致しかねます。また本機を修理した場合においても同様です。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。
7. 本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。

修理メモ

製造番号をご記入ください。

- ※ お客様にご記入いただいた個人情報（保証書控）は、保証期間内の無料修理対応及びその後の安全点検活動のために利用させていただく場合がございますのでご了承ください。
- ※ この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、保証書を発行している者（保証責任者）、及びそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店にお問い合わせください。
- ※ 保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については、取扱説明書をご覧ください。
- ※ This warranty is valid only in Japan.

メモリーカードカメラレコーダー保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には〈無料修理規定〉の記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。ご記入いただきました個人情報の利用目的は〈無料修理規定〉に記載しております。お客様の個人情報に関するお問い合わせは、お買い上げの販売店にご連絡ください。詳細は〈無料修理規定〉をご参照ください。

品番	AU-EVA1		
保証期間	お買い上げ日から 本体 1年間		
* お買い上げ日	年	月	日
* お客様	ご住所 _____		
	お名前 _____ 様		
	電話 (_____) - _____		
* 販売店	住所・販売店名 _____		
	電話 (_____) - _____		

ご販売店様へ ※印欄は必ず記入してお渡しく下さい。

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 TEL 0120-872-233

パナソニック コネクト株式会社

〒571-8503 大阪府門真市松葉町2番15号 ☎ 0120-872-233

©Panasonic Connect Co., Ltd. 2017-2022